2007年（平成19年）
8月15日号 №200
年7回（4・6・8・10・12・1・2月）発行
発行 市川市消防局
〒272-0021 市川市八幡1丁目8番1号
TEL 047-333-2111㈹ FAX 047-333-8181
ホームページ http://www.city.ichikawa.chiba.jp/fire/

こちら119番

消防テレホンガイド
☎ (333) 3636
火災・地震・気象など各種情報をお伝えします

火災・救急件数（7月末日現在）
◆火災 80件【前年比 -21件】
◆救急 11,034件【前年比 -322件】

残り少ない夏 熱中症にご注意！

8月も終わりに近づきましたがまだまだ厳しい残暑が続いています。今年は、全国各地、猛暑により熱中症で救急搬送される方が多くなっています。市川市も例外ではありませんが、知識不足や対策不足によって熱中症を防止できていないのが現状のようです。

また、気象庁の発表によると、今年は5月頃からラニーニャ現象（東太平洋赤道上で海水の温度が低下する現象で異常気象の一因）が発生し、その影響で特に暑い夏となっているようで、暑さは秋まで続く可能性が高いとされています。

まだまだ続く猛暑を無事に過ごすために、熱中症対策を万全にしましょう。

熱中症とは？

日射病・熱射病・熱疲労・熱けいれんなど高温・多湿下の環境によって発生する病気の総称で、軽症のものから意識障害を伴う熱射病等の重症のものまで含まれ、重症の場合は死に至ることもあります。

熱中症の事故が多いのは学生のクラブ活動時、炎天下での労働やスポーツ中が多くなっています。また、乳幼児や小学生の場合は、親が管理することが大切です。大きな子供の場合は親が子供に教えること、学校現場などで意識して貰うように働きかけることが重要になります。

また、近年では、高齢者の方が室内にいて熱中症になり、救急搬送されることが増えていますので、高齢者と一緒にお住まいの方は気をつけてあげてください。

高齢になると暑いことや喉が渇いていることを敏感に感じなくなってしまい、水分補給も少ないようです。どれだけ暑くても体に悪いからと言ってエアコンを使わない方もいますので、注意して下さい。

次のような症状が出たら要注意です！

- 唇がしびれる ・のどがやたらと渇く ・体温上昇
- 発汗多量 ・尿量の減少 ・足がつる ・足下がふらつく
- 立ちくらみ ・全身がだるくなる ・脈が早くなる
- 血圧の低下 ・痛みを伴う筋肉のけいれん（こむら返りなど）
- 全身のけいれん ・意識障害
- 動悸、頭痛、吐き気、一過性のめまいや意識消失

など

応急処置

屋外の場合は、日陰で風通しが良く、涼しいところで衣服を緩め休憩する。室内の場合は、エアコン、扇風機を使用して下さい。

体を冷やす場合は、氷やアイスノンなどで太い血管のある脇の下、首、股の間を冷やします。（熱が出た時も同様に冷やすと良いです）また、霧吹きなどを使い体全体に噴きかけたり、うちわや服などで風を送るのも効果があります。

自分で飲めるようであれば、少しずつ水分補給をさせましょう。塩分を含んだ水分（スポーツドリンクやコップ1杯の水に塩ひとつまみを入れたものなど）ですと吸収されやすくなります。また、意識障害が見られる場合は、直ちに救急車を要請するなど医療機関の診察を受けましょう。熱中症は重症になると死に至ることもあるため、迅速な対応を心がけましょう。

予防方法

熱中症の最大の予防法は、こまめに水分を補給すること、体温の上昇を抑えることです。真夏の炎天下でアスファルトの上を歩くのだとしたら、1時間に缶ジュース1本（250ml）を飲んでも良いぐらいの汗をかくものです。お腹を壊さないように気をつけて、水分をどんどん摂ることをお勧めします。ただし、水やお茶だけでは塩分が不足しますので、市販のスポーツドリンクや塩を直接舐めるなど塩分補給も忘れずにしてください。ペットボトルを常備して、飲みながら歩くのも効果的です。今は、熱中症予防の飴も市販されていますので、一度試してみてはいかがでしょう？ちなみにビール等のアルコール類はどんなに飲んでも水分補給ではありませんので、くれぐれもご注意ください。

体温の上昇防止には、見た目はあまり良くありませんが、首の後ろに1本タオルをかけるのも効果的です。外出の際は帽子は必需品となりますが、あわせて着用する衣服も「風通しの良い素材」「汗を良く吸い取りすぐ乾燥する素材」などを使用したものを選ぶと良いでしょう。

なにより、規則正しい生活を送り、栄養補給と睡眠をしっかり摂って疲労を蓄積させないことが重要です。「疲れたな―」と感じた時は、早めの休養を心がけてください。

第47回市川市消防団消防操作大会結果

平成19年6月3日(日)に第47回市川市消防団消防操法大会が稲荷木2丁目江戸川河川敷「消防訓練場」で開催いたしました。大会当日はお天気にも恵まれ、各分団とも日頃の訓練成果を遺憾無く発揮されました。また、ポンプ車の部と小型ポンプの部の最優秀賞分団は、7月1日(日)に開催された第26回東葛飾支部大会に市川市代表として出場しました。両大会結果については、以下のとおりです。

大会に参加された団員の方、大変お疲れ様でした。また、各分団員のご家族、自治会等地域住民の方々のご理解とご協力に深く感謝いたします。

【大会結果】

○ポンプ車の部
最優秀賞 第6分団
優秀賞 第22分団
優良賞 第23分団

○小型ポンプの部
最優秀賞 第21分団
優秀賞 第9分団
優良賞 第18分団
敢闘賞 第16分団
努力賞 第17分団

第26回東葛飾支部消防団消防操法大会

○ポンプ車の部
第6分団 努力賞

○小型ポンプの部
第21分団 努力賞

地域の安全と安心を守る ◇消防団員募集中◇

◇ 応募資格 市内居住の18歳以上45歳未満の方
◇ 問い合わせ 施設装備課 電話333−2154
（夜間・休日は、333−2111(代)へ）
※ 応募者多数の場合は、面接等になる場合があります。

◇普通救命講習◇ ～9月は開催場所を変更します～

○日 時 平成19年9月16日(日)午前9時～12時
○場 所 市川1丁目24−2 市川市西消防署 7階ホール
○定 員 30名(無料)
※ 申込みは、9月1日(土)
午前9時から受付開始します。
消防局 電話 333−2111(代)

～ 命をつなぐ連係プレー ～

台風シーズン到来 早めの対策を！

毎年、8月から9月頃を中心に、台風が日本に接近し各地に様々な被害がもたらされています。今年は7月に大型で非常に強い台風4号が上陸し、各地に土砂災害や住宅の全壊など大きな爪あとを残しました。これからの季節、台風対策が重要になってきます。万が一のために早めの準備を心がけましょう。

台風とは

熱帯の海上で発生する低気圧を熱帯低気圧と呼び、このうち北西太平洋や南シナ海で発達し、低気圧域内の最大風速（10分間平均）が17m／s以上のものを「台風」と言います。

台風は、暖かい海面から供給される水蒸気をもとに発生、発達していくもので、大きな空気の渦巻きとなり、中心に向かうほど強い風が時計回りと反対方向に吹いています。また、積乱雲が集まったものであるため、雨を広い範囲に長時間降らせることとなります。このように強風と大雨が台風の大きな特徴です。ちなみに北大西洋や北東太平洋では「ハリケーン」インド洋では「サイクロン」などの呼び名となっています。

対策

(1)雨戸等建具を点検し、飛ばされそうなものは補強、固定をしましょう。

(2)風で飛ばされそうな植木鉢などは家の中にしまっておきましょう。

(3)停電や断水に備えて、懐中電灯、ラジオの準備（予備の電池を忘れず）に水の汲み置きや最低限の非常食、飲料水の準備、また、連絡手段の確保として、携帯電話はしっかりと充電しておきましょう。

(4)地下室などはできるだけ避けましょう。また半地下等の駐車場は、水の浸入を防ぐ措置をとりましょう。

避難について

(1)低地、急傾斜地区にお住まいの場合は、周囲の降雨量などをチェックして早めの避難を心がけましょう。

(2)台風が接近して暴風雨になってから避難するのは絶対にやめましょう。また、暴風雨が一段落しても、山岳部に降った雨が時間を経て下流に集中し洪水をもたらすことがあるので注意しましょう。

市川市では、市民のみなさんに避難をしていただく場合には、次の方法でお知らせします。

①市内185箇所の防災無線による。

②市広報車による広報。

③消防団や各自治会を通じての連絡。

用語について

(1)避難勧告：居住者に立ち退きを勧め促すものです。

(2)避難指示：被害の危険が切迫したときに発せられるものです。

※避難命令という言葉が用いられることがありますが、法律的には「避難勧告」と「避難指示」という規定しかありませんので注意してください。

※全ての防災対策は事前対策です。災害が発生する前の準備に安全は比例しますので、テレビやラジオで台風の動きに注意し、事前対策、早期避難を心がけてください。

9月9日は救急の日

9月9日は「救急の日」です。

「救急の日」は、市民の皆さんに救急業務や救急医療に対して、正しい知識と理解を深めていただくとともに、救急医療関係者の意識を高めることを目的に定められました。

以来、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間を「救急医療週間」（今年は9月9日～15日）として、全国各地で応急手当の講習会などを中心とした救急に関する様々なイベントが開催されています。

消防局では、救急医療週間にさきがけて、9月8日（土）10時30分からニッケコルトンプラザにおいて、「救急広場」を開催します。

会場では平成19年4月から講習を始めています、世界的に変更した「より簡単で、より効果的」になった、新しい心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の使用方法や子供や赤ちゃんに行う救命処置等の実技指導を行います。

その他、高規格救急車の乗車・見学、救急隊の服を着て写真撮影コーナーなど、子供から大人まで楽しく体験・学習できる救急広場です。皆さんのご来場をお待ちしています。

救急隊員の勉強会
東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会

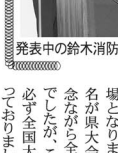
6月23日（土）鎌ケ谷市において、第9回東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会主催の症例検討会が開催されました。

この東葛飾南部地域救急業務メディカルコントロール協議会とは、市川市、船橋市、鎌ケ谷市、浦安市、習志野市の医師会、病院、消防で構成されている協議会で、救急救命士を含む救急隊員の行う医行為を医師が指示、指導、助言及び検証をして応急処置等の質を保障することを目的として、平成15年5月8日に設立されました。

今回で9回目の開催となった症例検討会では、市川市から、西消防署機動化学隊で救急隊員も兼務する鈴木栄治消防司令補が「NBC（特殊・災害）と題して、症例の発表を行いました。

この症例は、市川市内で何者かが、なんらかの化学物質を散布し、消防が活動した実際の事案で、消防の活動状況、化学物質の特定に至った経緯などの詳細説明の後、東葛飾南部地域内で各種集団災害発生時、医療機関の受け入れ体制など、今後の検討課題に活発な意見交換もされました。

発表した鈴木司令補は市川市内でこのような災害は発生してほしくないが、万が一の場合は、医療機関と連携して、一人の犠牲者も出さないよう日々の訓練を欠かさず行いたいとして、発表を終了しました。



発表中の鈴木消防司令補

特別救助隊・水難救助隊 全国大会に向けただ今訓練中

平成19年6月26日（火）千葉市中央区仁戸名町にあります千葉県消防学校で第32回消防救助技術千葉県大会が行われました。

今年は、県内31消防本部から団体種目5競技に128チーム480名、個人種目2競技に46名が出場し、市川市からも団体、個人合わせて9チーム、32名が参加しました。

県大会を上位成績で勝ち抜いた4チーム16名は、7月19日（木）東京都で開催される関東大会に出場する予定でしたが7月16日（月）に発生しました新潟県中越沖地震で、関東大会が中止となりました。中止の場合は事前の取り決めにより、県大会上位1チームが全国大会に出場することになっており3チーム11名が全国大会出場となりました。このため1チーム5名が県大会2位の成績だったため残念ながら全国大会出場はなりませんでしたが、この悔しさをバネに来年は必ず全国大会の切符を手にすると誓っておりました。また、全国大会から水上の部も加わり、市川市から、水難救助隊員2名が出場します。なお、全国大会は8月22（水）に東京都で開催されるため、結果は10月号でお知らせします。

救助隊員が日々訓練しているのは、市民のみなさんもお気づきだったと思います。救助隊員は市民みなさまの安心・安全のため頑張っています。また、訓練中は、声を出して訓練をしておりますので、付近のみなさまには大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんなりました。8月の全国大会まで残りわずかとなりました。引き続きご理解、ご協力よろしくお願いします。

訓練中の北消防署大野出張所　特別救助隊員

救急広場

日時　9月8日（土）10時30分～13時00分
（中止になる場合があります。）

場所　ニッケコルトンプラザ（鬼高1丁目1-1）

内容
- 救命講習
- 高規格救急車と資器材の展示
- 消防音楽隊と富貴島幼稚園の合同演奏
- その他、楽しい企画をご用意しています！

協力　ニッケコルトンプラザ、富貴島幼稚園

問い合わせ先　救急課　☎333－2169
夜間・休日　☎333－2111